

## 日本人として

3年 後藤 結花

今年の冬、私は文部科学省の実施する「トビタテ！留学 JAPAN」4期生として、オーストラリアの高校に5週間留学しました。私の通った学校は世界75か国から生徒が集まり、休み時間にはさまざまな言語が飛び交う刺激的な環境でした。しかし日本人は私一人。英語だけでコミュニケーションを取るのには簡単ではありませんでしたが、充実した日々を送ることができました。

私が特に苦労したのは平和学の授業です。日本は唯一の被爆国で、平和に対しての意識が高いと思われていますので、さまざまな場面で意見を求められましたが、原爆と平和についてのプレゼンテーションでは、日本の戦争史について何も知らないことを痛感し、悔しい思いをしました。そのため人一倍勉強し、本番では自信をもって自分の考えを伝えることができました。その後、全校集会での平和についてのスピーチを依頼され戸惑いましたが、自分の意見をさらに深めて堂々と話すことができました。

またトビタテ留学JAPANの自主活動として行ったアンケート調査で50人以上から回答を得たことで、海外の日本に対するイメージを知ることができたと同時に、この活動を通してさらに積極性も身に付きました。

この5週間、さまざまな挑戦の機会を得られ、一回りも二回りも成長することができました。これからはこの経験を積極的に発信し、留学への機運を高めていきたいです。



愉快的なクラスメイト



平和学の授業でプレゼンテーション

## 目指せ本選受賞！

3年 佐藤 洸大

数学オリンピック（数オリ）の予選は3時間で12問を解きます。もちろん、全問題を解ける必要はなく、今年度は本選出場ラインが5点、全国の最高点は8点でした。僕にとって6問目から12問目までは全く歯が立たない問題だったので、最初の比較的安易な5問をミスなく取れたのが突破できた要因だと思います。毎年夏に大会に向けた対策講座が秋田大学で開かれますが、それがある程度（完璧でなくても）理解できれば予選突破は可能だと思います。ちなみに、突破した3人のうち、僕と1年生の2人はポート部に所属しています。部活と両立して対策できるのが数オリの魅力です。

本選では4時間粘りましたが、結果は不合格でした。秋田大学の講座で教授もおっしゃっていましたが、本選出場者に対するサポートがより充実していけば、県勢初の本選受賞も可能だと思います。来年は本選受賞を目指して、僕の後輩には頑張ってもらいたいと思います。

※平成30年度の数学オリンピックにおいて、本校からは45人が予選にエントリーし、3人が本選に進んだ。本選進出は3年連続、複数人の突破は久しぶりであった。



予選を突破した3人。左から1年生の照井禅君、2年生の佐藤洸大君と石川佳希君（学年は受験当時）

## 株式会社あきた総研



代表取締役 須田 紘 彬  
(平成16年卒)

〒010-0851 秋田県秋田市手形西谷地86-4-2F  
TEL: 018-889-2908 FAX: 018-889-2909

<http://akt-c.com>

一般歯科・歯科口腔外科・小児歯科

## 追分歯科医院

副院長

奈良 宏周  
NARA HIRONORI  
(平成14年卒)

秋田市金足小泉字湯向3-2  
018-873-5661  
www.oiwakedc.com  
oiwakedc@gmail.com



ジオテックコンサルタンツ株式会社  
建設コンサルタント

〒010-1633 秋田市新屋島木町1-74  
TEL 018-888-8533/FAX 018-828-3380

菅原崇人 (平成14年卒)